

# 情報システム全体最適化の取組方針の概要

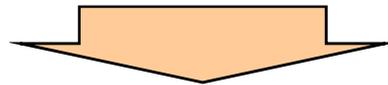
## 策定の趣旨など

### 【現状】

情報システムやパソコンなどの情報通信機器は、今や行政運営に欠くことができない基盤（庁内の情報システム：185システム・パソコン：約41,000台）情報システムの運用に多額の経費を要している

### 【策定の趣旨】

「新たな行財政改革の取組み」の一つとして情報システムの最適化を進める  
庁内の情報システムの統合・効率化を進め、道全体のIT関連経費の縮減  
セキュリティの向上や技術進歩などに対応した情報システムの着実な整備・更新、安定的なシステム運用に努め情報システムの機能や性能の向上を図る



### 【取組方針の位置づけ】

全体最適化の具体的な取組内容を明らかにするとともに、取組みを実施する上での基本方針として策定

## 取組の内容

パソコン調達の一元化

ネットワークの統合

サーバーの最適化

個別システムの最適化

大型汎用機の最適化

IT予算の一元化

## 取組方針の期間

平成25年度～平成29年度（5か年）

## 取組の適用範囲

道の情報システム、ネットワーク、パソコン、ソフトウェアを対象  
（北海道警察所管分及び教育庁道立学校教育用パソコンを除く）

## 経費削減の目標額

1,028百万円 H29年度経費削減額（対H24年度）  
（H24年度運用費 約5,144百万円 約20%削減）

## 取組の内容

### パソコン調達の一元化

#### 現状・課題

- ・パソコンは各部局で調達しているため、多くは小規模の調達で、機種数も増大

#### 取組

- ・パソコン調達を可能な限り集約し、発注単位の大型化と仕様の統一を図る。
- ・さらに、パソコン配備のあり方や予算の一括計上など管理の一元化について検討を進める。

### ネットワークの統合

#### 現状・課題

- ・システム運用費に占める通信回線使用料の比重が大きいことから、各システム毎の独自ネットワークの集約を進めている。

#### 取組

- ・未集約の独自ネットワークをシステム更新時に、道庁行政情報ネットワーク(道庁の基幹回線)への集約の検討を進める。

### サーバーの最適化

#### 現状・課題

- ・庁内の情報システムのサーバーは約750台
- ・サーバーは情報システム毎に整備され、システム間で設備や調達、運用作業などに重複が見られる。

#### 取組

- ・システム更新時にサーバーの統合や集約、クラウドサービス利用などによりサーバー最適化の取組を進める。

### 個別システムの最適化

#### 現状・課題

- ・現在、情報システム毎に調達や運用の適正化・効率化を進める「情報システム診断」や各部に対する「システム相談」の取組を実施

#### 取組

- ・引き続き、情報政策課が「情報システム診断」や「システム相談」を実施し、システム設計の内容の診断や仕様書の作成など専門知識が必要とされる作業への助言等を行う。
- ・「情報システム調達ガイドライン」を策定し、システム開発・運用業務の標準化を進める。

### 大型汎用機の最適化

#### 現状・課題

- ・道では、66の情報システムで大型汎用機を使用
- ・大型汎用機は、一般的に機器使用料が高額
- ・また、固有技術に依存するため特定事業者との随意契約が長期化

#### 取組

- ・H24年度に実施する大型汎用機の最適化調査をもとに経費削減と業務効率化が見込まれるものについて、最適な手法へ移行を検討する。
- ・検討には長期間必要なため、取組期間中、大型汎用機の使用料や運用経費の見直しを行う。

### IT予算の一元化

#### 現状・課題

- ・各部毎に予算要求・執行を行い、情報システム間や各部間の連携・調整が図りにくい
- ・各部の担当職員は専門職ではなく、積算や仕様書作成などの事務作業に相当の時間を費やしている。

#### 取組

- ・全庁的・長期的な視点に立ち、経費の削減や柔軟な運用が図られるよう、IT経費の予算要求・執行を一元化する取組を段階的に進める。

## 各取組における予算削減試算値

取組の内容	予算削減試算値	試算値の積算根拠
パソコン調達の一元化	約437百万円	1人1パソコンで使用するパソコンの大規模調達に伴う低価格化の実績を参考に経費節減を試算
ネットワークの統合	約146百万円/年	ネットワーク統合による回線費用、ネットワーク機器費用の削減による試算値
サーバーの最適化	約69百万円/年	公開で業者から情報収集を行い、現行サーバ経費の30%程度の削減率で試算
個別システムの最適化	約740百万円/年	これまでのシステム診断での削減実績等を参考にした削減率で試算
大型汎用機の最適化	約60百万円/年	大型汎用機の使用料や運用方法の見直しによる経費削減の試算値
IT予算の一元化	約55百万円/年	専門家からの聞き取りにより、予算の一元化による調達経費の2%程度の削減率で試算

パソコン調達の一元化を除き、予算削減試算値はH24年度予算とH29年度予算の差額を表す。

## スケジュール

取組の内容		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
パソコン調達の一元化	調達の集約	本庁実施	実施(H24年度の実施結果を踏まえ、対象範囲などを見直し)				
	管理の集約		パソコン管理の一元化について検討し、実施				
ネットワークの統合	小規模	引き続き実施(システム更新時に向けて統合を検討)					
	大規模		統合の方向性検討	方向性に基づき実施			
サーバーの最適化		基本計画策定	システム更新時に実施				
個別システムの最適化		引き続き「情報システム診断」・「システム相談」を実施					
大型汎用機の最適化	小規模		業務担当課と検討を行い、可能なものから実施				
	大規模	最適化の調査実施	検討方針案作成	最適化の方針決定	方針に基づき実施		
IT予算の一元化		一元化の検討	システムの更新年度を捉え、段階的に予算を移行				

大型汎用機の最適化の大規模(システム)は、人事給与システム及び道税総合情報処理システムを指す。